

## 熊に出会った二人

二人の友達が山道を歩いていました。突然、岩かげから大きな熊が現れました。一人の男はすばやく木にのぼり身を隠しました。しかしもう一人の男は間にあわず襲われそうになりましたので、地面に倒れて死んだふりをしました。熊は近づいてきてこの男の身体を嗅ぎまわりましたがそのまま立ち去りました。木から降りてきた男は地面に横たわった友達に「熊は君に何を言ったんだ」とたずねました。「熊はね、危険な時に自分一人で逃げる様なやつとは今後一緒に歩かないようにしなさい、と。」



## 欠席の罰

神様の結婚式が盛大に行われまして全ての動物が招待されました。しかし亀の姿は見当たりませんでした。翌日、不思議におもわれた神様は亀を呼び出されておたずねになりました。「昨日の宴会に皆来てくれたのにお前だけ来てくれなかったのは何故なんだ」と。亀は「神様、みんなと会うなんてそんな煩わしい事は嫌ですよ、家が一番気楽な場所です、これほど良い所はありませんよ」亀の答えに腹を立てられた神様はそれ以後亀に家を背負って暮らすことにされました。



## 脱走した鳥

ある農家に捕らわれてた鳥がいました。彼の生活は、足首に巻かれた一本の麻紐によって苦しいものでした。毎日子供の相手をさせられて飛ぶこともならず人間の暮らしに押し込められた苦痛の連続でした。ある日、ほんの少しのすきを見つけた彼はようやくやって来た自由に喜び急いで巣に帰ろうとしましたが足の麻紐が木の枝に巻きつき死を迎えることになった時、しみじみとつぶやきました「なんと情けないことになったものだ、人間に飼われる少しの辛抱があれば命を落とすこともなかったろうに」

